

学校・家庭・地域の強い絆づくり

～川中中学校区ふるさと協育ネット初年度の動きから～ 【下関市 川中中学校区】

地域の概要

下関市街地の北西部に位置し、西に響灘を望む風光明媚な地です。また、交通の便もよく、近隣には大型商業施設や金融施設が立ち並び商業地域としても発展してきました。住宅やマンションも多く、川中中学校は教科センター方式の新しい校舎として、平成22年に現在の位置に移転されました。

人口	19,646人	
世帯数	8,582世帯	
対象校及び 児童生徒数	川中中学校	675人
	川中小学校	546人
	熊野小学校	873人

組織の内容

学校・家庭・地域の強い絆を作りだし、それぞれがもつ力を結集し、互いが協力しながら子どもたちの育ちや学びを支援していこうと、今年度から「川中中校区ふるさと協育ネット」がスタートしました。今年度は、まず川中中学校の単独校実施ではじめ、次年度は川中小、熊野小の2小学校を含めた、同一中学校区での協育ネットになります。

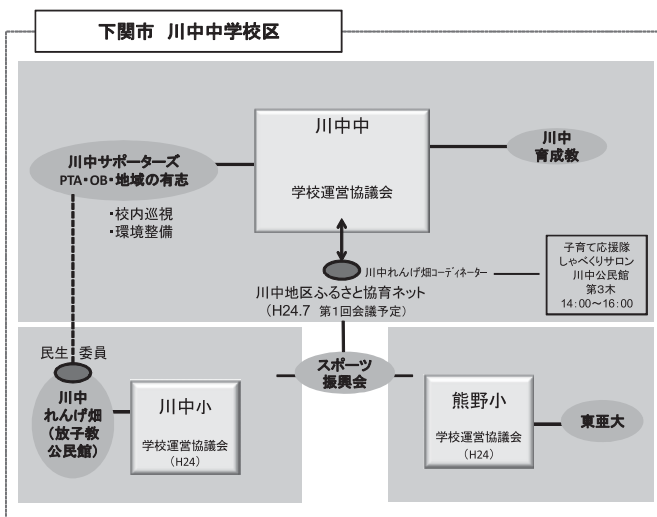
11月には、2小学校とともに下関コミュニティ・スクールの指定を受けて、それぞれに学校運営協議会が設置され、そのメンバーに協育ネットのコーディネーターも入り、学校応援団としての調整役として活動しています。

川中中学校は教科センター方式を取り入れた“新”川中中学校として生まれ変わり3年目を迎えますが、建設時の重要なコンセプトとして「より地域にオープンな学校」を掲げ、校舎棟内に地域の方々気軽に利用できる「地域交流ラウンジ」を完備しています。そのラウンジを拠点に校内巡回支援を主な活動とする「川中サポーターズ」というボランティア組織があり、今年度は特にその組織の拡大をはかるとともに、学校支援の内容をこれまでの「校内巡回支援」だけでなく、「環境・安全整備支援」「学習支援」「体育・文化・芸術への支援」「学校行事や諸活動等への支援」へと幅を広げるようにしました。

7月に第1回川中中校区ふるさと協育ネット協議会を開催しましたが、今年度は川中中学校単独での協育ネットの実施でしたので、協議会の構成メンバー約15名は「川中サポーターズ」のメンバーが中心でした。しかし、次年度に向けて、川中小学校に「川小サポーターズ」熊野小学校に「熊小サポーターズ」を組織し、それぞれのサポーターズの主なメンバーによる構成で新しい協育ネット協議会を立ち上げる予定にしています。この取組は、各校の応援団の組織のみならず、同一中学校区での学校応援団の目的の共有化を可能にし、地域の人の流れの双方向性を生み出し、小中連携の強化にもつながるものと考えています。

コーディネーターは、これまで川中地区の放課後子ども教室「川中れんげ畑」の代表として活動おり、地域とのつながりも深く、学校応援団としての地域のボランティアの方々の思いや願いと、学校側のニーズとをすりあわせながら積極的に活動しています。

次年度は、このコーディネーターを中学校区のチーフコーディネーターとして、また2つの小学校にも協育ネットのコーディネーターを配置し、連携を深めていく予定です。3人の協育ネットコーディネーターは各校の学校運営協議会のメンバーとして、学校応援団の組織化にも力を注いでいく予定です。



地域の皆様へ

川中サポーターズの募集について

教科センター方式による新川中がスタートして3年目を迎えた。当初は生徒も教職員も新しいシステムと環境に戸惑ったも今では、真新しい校舎の中で、目を輝かせながら、授業に励む生徒と取り組んでいます。

本校は、建設時の重要なコンセプトとして「より地域にオープンな学校」を掲げており、校舎棟内に地域の方々に利用いただける「地域交流ラウンジ」を完備しています。

そこで、以下のような考えから、「川中サポーターズ」を募集しますので、ご都合がよいと思われる方、お気軽に川中中学生と「学びの道」を共有してみせたい。FAX(裏面)あるいは郵送等でお申し込みください。

【基本的な考え方】

～学校・家庭・地域の強い絆づくり～

サポーターズ募集チラシ